

しまねの土地改良だより

平成24年7月1日発行

 水土里ネット島根

■ 第15回しまねの農村景観フォトコンテスト入賞作品表彰式

6月3日島根県芸術文化センター「グラントワ」にて、「第15回しまねの農村景観フォトコンテスト」入賞作品の表彰式が開催されました。

主催者から今回の応募状況、審査結果についての経過報告後、最優秀賞の中島恒夫様ほか受賞者15名に賞状、賞金が贈呈されました。表彰式終了後には、川本審査委員長と渡里審査委員から受賞作品ごとに講評をいただき、受賞者は熱心に聞き入っていました。

尚、入賞作品の展示を、下記の日程で予定していますので、最寄りにお越しの際は是非ご覧くださいませようご案内いたします。



【作品展示日程】

- | | |
|---------------------------|------------------|
| □西郷港ターミナルビル2階（隠岐の島町） | H24. 7. 27～8. 1 |
| □出雲縁結び空港ターミナルビル2階（出雲市斐川町） | H24. 8. 9 ～8. 19 |
| □石見海浜公園観光情報コーナー（浜田市久代町） | H24. 8. 21～9. 3 |

【表彰者】

■最優秀賞

「収穫のよろこび」中島 恒夫

■部門賞

◇風景部門

「津田かぶ干しから見える風景」山本 敏彦

◇人物部門

「畑帰り」山本 孝之

◇施設部門

「朝の水張田」行長 好友

◇イベント部門

「ボク三代目」池田 幸枝

■島根県緑化推進委員会会長賞

「初夏の姉谷を吸い込む」小埜 栄一郎

■審査委員特別賞

「友だち」大坂 武

「すやすやお昼ね」渡辺 敏美

「親子」橋本 潤子

「秋晴れの下で」遠藤 勉

「新緑の頃」角場 薫

「田植」市河 宏子

■入選 10点 ■佳作 10点

■山陰フジカラー賞 1点

■農地・水保全管理特別賞 1点

～入選作品は本会ホームページ (<http://www.shimanedoren.or.jp/>) でご覧いただけます～

- | | |
|------------------------------|---|
| ・第15回しまねの農村景観フォトコンテスト入賞作品表彰式 | 1 |
| ・中国四国土地改良事業団体連合会協議会総会 | 2 |
| ・山王寺地区の耕作放棄地解消実験（2年目） | 2 |
| ・布部地区汚水処理施設 竣工奉告祭 | 3 |
| ・田んぼの学校 in 山王寺『田植えコース』 | 3 |
| ・「ルーラル・ミーティング in しまね（H24）開催 | 4 |
| ・本会平成25年度新規採用職員募集 | 4 |
| ・今後の主な予定 | 4 |

■ 中国四国土地改良事業団体連合会協議会総会

中国四国土地改良事業団体連合会協議会総会（管内9県の県土連で組織）が6月26日午後3時から、高知市において開催されました。

総会は高知県土連依光会長職務代理者・副会長の挨拶で始まり、次に、「21世紀土地改良区創造運動中国四国地方大賞表彰式」が行なわれ、今年度地方大賞を受賞された水土里ネット神田（広島県）、防府水土里ネット（山口県）、水土里ネット高知市東部（高知県）の3団体に対し、表彰状と記念品が授与され、来賓の國弘中国四国農政局長、笹岡高知県農業振興部副部長、中條全国水土里ネット専務理事からそれぞれ祝辞が述べられました。

その後、中国四国農政局整備部安部設計課長からの管内情勢説明に続いて総会に移り、農業農村整備推進の要望及び本年度の事業計画についていずれの議案も原案どおり承認可決されました。

〈農業農村整備推進の要望事項〉

- 1 農地・水保全管理支払交付金に対する要望額の確保及び事務の効率化
- 2 農業体質強化基盤整備促進事業に対する予算枠の拡大及び事業の継続について
- 3 小水力発電導入促進のための予算枠の拡大と更なる水利使用許可の緩和
- 4 危険ため池の整備を促進するための制度事業の確立と国庫負担の拡充
- 5 水田汎用化を促進するための制度事業の確立と国庫負担の拡充

■ 山王寺地区の耕作放棄地解消実験（2年目）

昨年度から3カ年計画で、島根県からの業務委託により「中山間ふるさと水と土基金事業『山王寺地区耕作放棄地解消実証実験業務』」を実施しています。

この業務は、棚田地域の耕作放棄地を簡易な整備手法で再生し、高齢化で農地の維持管理が難しい農業者に代わって、日常管理を含めた全ての農作業をオーナーが行なう市民農園的手法（農園利用方式）で維持管理していく方法等々について実証実験を行うものです。



昨年度も中山間地域研究センターの「放牧牛の貸出し」を活用していましたが、今年度も同様に、6月7日から2頭の牛が現地に搬入され、約2ヶ月間に亘る放牧が開始されました。

かつては県内中山間地域では普通に見られた牛ですが、最近は放牧してある光景が少なく、近くで声をかけると寄ってくるなど、大変人に慣れた放牧牛であり、毎日のように現地を訪れる親子連れもあります。

放牧牛による除草効果は素晴らしいものであり、今後数年間継続して放牧し、再生しやすくなった農地で、農地条件に適した労力低減できる作物や利活用方法等について検討していく予定です。

■ 布部地区汚水処理施設 竣工奉告祭

安来市広瀬町布部地区において「布部地区農業集落排水事業」で施工された汚水処理施設が完成し、平成24年6月9日に竣工奉告祭が、関係者出席のもと執り行われました。

計画処理人口は410人で、処理方式は膜分離活性汚泥方式を採用しており、施設構造はFRP製の合併浄化槽です。

布部地区は平成22年度から事業実施していますが、管路施設工事は全体延長4.4kmのうち、これまでに半分程度が完了し、順次宅内工事も行われており、既に数戸はつなぎ込みが終了しています。残る管路施設工事が完了するまでには、あと2年かかる予定ですが、生活環境の向上や公共用水域の水質保全のためにも、一日も早い事業完了が望まれているところです。



■ 田んぼの学校 in 山王寺『田植えコース』

6月3日に雲南市山王寺において、田んぼの学校『田植えコース』が松江市、雲南市からの親子連れ約80人の参加により開催されました。

「日本の棚田百選」に選定された山王寺では、平成18年度から田んぼの学校が毎年開校され、今年で7年目を迎えました。

当日は子どもたちを中心に、きれいに代掻きされた田んぼに素足で入り、ばばひきをしてから、古代米やコシヒカリの苗の手植えをしました。田植えの後は、さつまいも植えも行いました。

「田んぼの学校」は、農作業を通じて、遊びと学びに対し豊かな感性を持った子供たちが、働く喜び、学ぶ喜びを体験することで、将来の農業農村の良き理解者となってもらうことを目的に、地元の「山王寺本郷棚田実行委員会」が主催で開催されており、次回の田んぼの学校は、7月28日に『棚田の自然調べコース』が開催されます。是非ご参加ください。



■ 「ルーラル・ミーティング in しまね (H24) 開催

～しまねの農業農村整備・地域防災を考える～

島根県農業農村整備推進協議会・島根県農村災害支援協議会の共催で、災害に強い農村社会の形成、今後の防災対策、又危険ため池のハザードマップ作成等々、地域全体で防災に強い地域づくりについて検討することを目的に、東部・西部2会場で開催します。

- ・平成24年7月19日午前10時～午後4時30分 場所：松江市「島根県土地改良会館会議室」
- ・平成24年7月20日午前10時～午後4時30分 場所：浜田市「浜田市役所本庁4階講堂」

■ 本会平成25年度新規採用職員募集

募集人員2名 ①大学卒業程度・・・1名

平成22年3月1日以降に学校教育法による4年生大学（農学系専攻）を卒業見込みの者又は卒業した者

②社会人・・・・・・・・1名

平成25年3月31日現在の年齢が32歳以下の社会人で学校教育法による4年生大学（農学系専攻）を卒業した者

詳しくは、本会ホームページまたは最寄りのハローワークまで

■ 今後の主な予定

- 7月 3日 益田管内業務説明会及び意見交換会（益田市）
- 4日 隠岐地区土地改良協議会総会（海士町）
隠岐管内業務説明会及び意見交換会（海士町）
- 6日 松江管内業務説明会及び意見交換会（安来市）
- 10日 雲南農業農村整備推進協議会総会（雲南市）
雲南管内業務説明会及び意見交換会（雲南市）
- 23日 大田管内業務説明会及び意見交換会（大田市）
- 25日 出雲管内業務説明会及び意見交換会（出雲市）
- 30日 浜田管内業務説明会及び意見交換会（江津市）
- 8月 8日 県央管内業務説明会及び意見交換会（邑南町）



みどり
「水」「土」「里」
の未来を創造し働きます

「水」・・・農業用水や地域用水
「土」・・・土地や農地
「里」・・・農村空間、農家や地域住民が一体となった生活空間

水土里ネット島根（島根県土地改良事業団体連合会）

〒690-0876 島根県松江市黒田町 432-1 島根県土地改良会館 TEL 0852-32-4141
ホームページ <http://www.shimanedoren.or.jp/> メール smndoren@shimanedoren.or.jp